

一陽来復

いよいよ、今年も残すところあと1週間程となりました。今年みなさんにとってどのような1年でしたか？中学から高校と身の回りの環境が大きく変化した1年で、慣れるのに大変な人もいたのではないのでしょうか？来年は、今年に比べればじつくと物事にあたることができると思います。更なる飛躍の年にしてください。

12月21日は二十四節気のひとつ「冬至」です。昔から暦の上では立冬(今年は11月7日)からが冬ですが、本格的な寒さは冬至ごろからといわれています。

1年で1番太陽の力が弱い日は、「これ以上陰が極まる日はない=これからは陽に転じる」という中国の易経から「一陽来復(悪いことが去り、良い方向に転じる)」という言葉と結びつけられています。

日本では、カボチャを食べたり、ゆず湯に入ったりする風習があります。寒い時期に体を温めることやビタミン補給をすることは健康管理にとっても理にかなっています。

この寒い時期、心と体に十分な栄養補給をしましょう。

◎1月の予定

【登校日】

1月6日(金)午前8:30~10:30

冬休みの宿題チェックと課題テスト勉強を行います。

【課題テスト】

1月10日(火)~1月11日(水)の2日間

冬休みの課題を中心に行います。

【土曜補習】

1月14日(土)・28日(土)午前

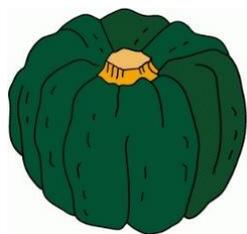
国語・数学・英語の3教科の補習授業を行います。

【外部模試】

1月21日(土)

進研学力テストが行われます。

科目数は3教科(英語・国語・数学)です。



学部学科研究②

今回と次回は興味や得意科目からの分類方法ではなく、学部を学問型の学部と専門型の学部の2つの型に分けて紹介します。

【1】学問型の学部

「学問型の学部」とは古い歴史を持った学部で、**文学部**が分かりやすい例です。文学部では源氏物語から現代小説まで幅広く学びますが、将来作家になるのは100人に1人以下です。出版業界を含めても少数派です。このように「学問系の学部」は、様々なことを勉強するが就職に直接生かすわけではない、または間接的に生かすのが特徴です。

※ 間接的に生かすとは・・・理学部で学んだ学生が、製薬会社の営業職に就くようなケースです。

学問型の学部リスト

- I 人文科学系統の全て ・文学 ・哲学 ・心理学 ・歴史学 ・考古学 ・文化人類学 ・外国語学 ・教育学
- II 社会科学系統の全て ・法学 ・政治学 ・国際関係学 ・経済学 ・経営学 ・商学 ・情報 ・地域
- III 自然科学系統の一部 ・理学 ・農学

例えば「歴史学」を学び博物館に勤める人はごく少数ですし、「法学」を学んで弁護士や司法書士になる人も結果的には少数になります。また「理学」のなかの物理学を学び、将来も研究を仕事にできる人はごく少数です。

※ 理学、農学の分野で、学んだことを直接的に仕事にする研究者に就くには、大学院進学が必要です。

学問型の学部のメリット

- 文学、歴史学、法学、理学といった「学問系の学部」のメリットは以下の通りです。
- ・カリキュラムに縛られず好きなことを学べる。
 - ・幅広く学ぶなかで、自分の可能性に気づいたり、関心のある職業が広がったりする。
 - ・高校時代に将来の仕事を決めなくても、大まかな興味があれば進学は可能。

学問型の学部のデメリット

- 文学、歴史学、法学、理学といった「学問系の学部」のデメリットは以下の通りです。
- ・たとえ同学部生でも進路はバラバラ。1年生の段階から将来の職業を考え、英語、情報処理、簿記、公務員の資格を取得するなど、武器を身につける必要がある。
 - ・大学の難易度が就職活動の幅に影響する。
 - ・就職は安定企業からフリーターまで幅がある。

次回は**専門型の学部**について紹介します。

1月	
日	曜
1	日 元日
2	月 振替休日
3	火
4	水
5	木
6	金 登校日
7	土
8	日
9	月 成人の日
10	火 始業式・課題テスト
11	水 課題テスト
12	木
13	金
14	土 土曜補習⑧
15	日
16	月
17	火
18	水
19	木
20	金
21	土 進研模試
22	日
23	月
24	火
25	水
26	木
27	金
28	土 土曜補習⑨
29	日
30	月
31	火

《2年0学期①》

- ◆1年最後の校外模試を利用し、基礎力の確認と応用力の育成を図る。
- ◆担任以外の先生とも面談を行い、志望のモチベーションアップを図る。
- ◆国公立大学等の入試制度・入試科目を調べる。
- ◆センター試験に触れ、2年後の受験を意識しよう。